



ベトナムにおける新型コロナウイルス感染対策に対する支援
—国立熱帯病病院に対する検査能力向上支援—

2020年11月25日

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

ベトナムにおける新型コロナウイルスによる感染対策支援として、JICA は、国立熱帯病病院の要請を受けて、全自動リアルタイム PCR 検査システムなどの検査機器(総額 6 千万円相当)の支援を開始しています。本日はその一部を国立熱帯病病院に引き渡しました。

JICA はベトナムの HIV 蔓延の抑制に向けた「ベトナムにおける治療成功維持のための bench-to bedside system* 構築と新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト」を、ベトナム北部地域の感染症の拠点病院である国立熱帯病病院とともに実施しています。プロジェクトでは、地域病院での HIV 治療状況を中央でモニタリングする仕組みの構築や、HIV ウイルス感染にかかる免疫機能に関する研究開発を行っています。今回の国立熱帯病病院に対する支援は、プロジェクトで扱う HIV ウイルスに関する検査技術の能力強化とともに、新型コロナウイルス感染症対策のための PCR 検査の能力強化の観点から行うものです。

新型コロナウイルス感染症の対策において、国立熱帯病病院は、新型コロナ感染の重症患者を含む患者治療の第一線を担うとともに、感染者の隔離や PCR 検査を実施しています。感染拡大が著しい 3 - 4 月には、200-300 検体/日の PCR 検査を実施しました。しかし、現在使用しているリアルタイム PCR 装置は、手動で行う部分も多く、検査に大きな労力と時間を費やし、病院に大きな負担となっていました。7 月にダナンで感染流行が起こって以降、市中感染は落ち着いているものの、9 月からの国際往来の再開により、現在も約 1 万 5 千人が隔離下にあるなど、ベトナム政府は引き続き感染拡大を警戒しています。

本支援によって、PCR 検査の迅速化と国立熱帯病病院の負担の軽減につながることを期待されます。

JICA は引き続き、日本政府と連携し、新型コロナウイルスを含めた感染症対策への支援に取り組んでまいります。

* 対象医療施設の登録患者のウイルス量や薬剤耐性検査を国立熱帯病病院の検査室(bench)で行い、検査から得られた結果を迅速に対象医療施設の臨床現場 bedside)や保健省エイズ対策局等関連部局にフィードバックすることで、効果的な HIV 治療を実施するシステム

○本件に関する問い合わせ

国際協力機構(JICA)ベトナム事務所

11Fl., Corner Stone building, 16 Phan Chu Trinh, Hanoi, Vietnam

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) 担当:高木